

2025 第3回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

【1】 会話文読解問題

教師と二人の生徒が会話する場面です。内容は、二人の靴のセールスマンがアフリカに市場調査へ派遣され、同じ状況を見ながら正反対の報告をしたというものです。一人は「この地域の人々はみな裸足だから靴は売れない」と報告し、もう一人は「この地域の人々はみな裸足だからこそ靴が売れる」と報告しました。同じ事実を見ていながら、まったく逆の結論に至ったおかしさがテーマになっています。

問1は動詞の用法と語形に関する問題です。特に **turn**, **share** に注意しましょう。**問3・4**は **cause** と **perspective** は難単語ですが、あきらめずに文脈から推測してもらいたいとの意図で出題しています。**問8**の **positive**, **negative** は使いこなせるようにしておきたい重要単語です。

【2】 長文読解問題（エッセイ）

友人のいなかった主人公が、あるバスケットボールの試合で思いがけない体験をします。スポーツ万能で人気者のケリーが、彼にパスを回し、無言のうちに「シュートしろ」と託したのです。主人公はその期待に応じてゴールを決めました。ほんの一瞬の出来事でしたが、主人公は今もなお、ケリーの親切を心に刻んでいるという話です。

問1の省略構文は入試でもよく出題されます。本問のように **I was** のような不完全な形で文が終わるのが特徴であり、その点を知っておけば有利になります。**問2～問4**の3問は形式こそ違うものの、いずれも文脈を読み取る力が問われています。**問7**の **instead** の語法は重要です。**instead** は単独の副詞として使えば「その代わりに；それよりも」となりますが、**instead of** ～の形で使えば「～の代わりに；～ではなく」となるので、覚えておきましょう。**問11**の **teenager** は「10代」とされますが、範囲は13(**thirteen**)～19(**nineteen**)歳です。その点を理解してもらうために出題しました。**問12**の選択肢には名詞・動詞・形容詞が混在しているため、まず品詞を判断し、その上で内容に合うものを選ぶのが基本的な流れです。

【3】 長文読解問題（説明文）

外国人旅行者に向けて、日本滞在時の注意点をいくつか挙げ、それぞれに説明を加えた文章です。内容は、日本の国土の特徴や生活上のマナー、滞在中に気をつけるべき点などで構成されています。

問1の discourse marker(文章や会話の流れを整理したり, 話のつながりを示したりするために使われる語句)はよく出題されます。**問5・6**は文脈を踏まえて解く問題です。落ち着いて丁寧に読み, 取りこぼしのないようにしましょう。

【4】 同音異義語問題

2の(a)は文の内容から stairs (階段) が入るか, そして, その同音異義語として(b)に stares (見つめる) が入るかを考えるのが解答のプロセスです。stare は意味と発音を覚えておきたい単語です。

【5】 連立完成問題

1の(b)の recycle はつづりを間違えやすい語ですが, bicycle と関連づけて覚えるとよいでしょう。どちらの cycle も「輪」・「円」の意味があります。

2の(a)の promising が promise から派生した語で「有望な」という意味であることから(b)の achieve greater success 「より大きな成功を収める」に書き換えられるかがポイントです。

【6】 和文英訳問題

(1) は be proud of ~ing, be good at (最上級は be the best at) を, (2) は enjoy ~ing, help + O + (to)~ をつなげて文を作ります。「誇りに思う」・「～したいと思う」では think を使わないことに注意しましょう。

2025 第3回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

出題内容は、多項式の展開と因数分解・平方根・2次方程式・関数 $y=ax^2$ ・相似・円の性質・三平方の定理です。第2回までの単元に三平方の定理が加わり、これで受験本番とほぼ同じ範囲が出題されることになります。本テストも受験しっぱなしにはなっていないでしょうか。直前期には演習中心の学習になっていくので、今のうちに弱点克服やじっくり復習をしておくことをお勧めします。行事の多い時期ですが、工夫して時間を捻出していきましょう。

【1】 計算問題（単項式の乗除，2次方程式，連立方程式）

基本的な計算が中心です。(3)が目新しく、苦戦したかもしれません。両方の式に $x+y$ が入っていることに気づけるかどうかポイントになります。代入できる形に変形しましょう。また、中学の範囲からは外れますが、両辺を $x+y$ で割って考えても解けます。(4)は特殊な考えは不要で、誘導に従えば答えにたどり着けます。結果は知っておいても損はないでしょう。

【2】 小問集合（1次関数のグラフ，連立方程式，相似，確率）

さまざまな分野から1問ずつ出題しました。(1)は、3直線が三角形をつくるかどうかの問題で、プレテストに続いての出題です。いずれか2直線が平行な場合、または3直線が1点で交わるときが、三角形をつくらない場合になります。(2)は誘導どおり、ミスなく変形すればよいです。(3)は図形です。解答のように相似を利用しても、面積を直接計算しても構いません。ADでなくDBを文字で置く方が、登場する方程式は易しくなります。(4)は確率の問題です。一見簡単そうですが、正答率は低くなりました。何が同様に確からしいかをきちんと把握することが重要です。

【3】 空間図形（円の性質，三平方の定理）

三角錐を回転させたときの、側面の通過領域に関する問題です。(1)が(2)(ii)の誘導になってはいますが、それでも難しかったと感じた人は多いでしょう。点Oから直角三角形ABCの各辺への最短距離と最長距離を考える必要があります。最短距離は頂点ではなく辺上にあることを、頭でイメージできるようになってほしいです。

【4】 平方根と整数

例示したように、整数分の1という分数の中にさらに分数をつくっていく「連分数展開」を背景とした問題です。しかし、それを知らなくても十分に正解することはできます。(1)は、与えられた平方根の数を整数部分・小数部分に分けているだけで、入試でも頻出の問題です。よく読んでから設問に答える習慣をつけましょう。

【5】 関数と図形（関数 $y = ax^2$ ，相似，円の性質）

放物線で表される関数のグラフに、相似や円が組み合わさった融合問題を出題しました。(2)は相似を導くことにより、角度に変換しています。直線が直交する場合は、このような相似が根拠になります。2組の角が等しい場合以外の相似条件は使う頻度が少なめですので、改めて確認しておいてください。(3)は、線分ADが円Cの直径になっていることに気づけるかが、解く鍵になっています。

【6】 平面図形（円の性質，三平方の定理）

2つの円の位置関係と、それによって面積がどう変わるかを見る問題です。 30° ， 60° や 45° といった有名角が現れることに気づくことが必須で、そのような流れに誘導するように問題を設定しています。裏を返せば、中心角が有名角とならない場合、一般に(3)のような2円で作られる面積を中学数学の知識で表すことは困難です。手詰まってしまったときに、「長さしか与えられていないのに角度を求めるなんて、きっと有名角が現れるのだろう」「ここが 45° だったら解けるのに」などと、逆から考えてみると有効なことがあります。図形の問題を解く際は、その図形のもつ普遍性に注目することも大切ですが、同時に設問の特殊性（長さや角度）に依存する性質に気づける力も求められます。

2025 第3回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

夏休み中に力をつけてきた受験生にとって、最初の力試しとなるテストです。入試に向けた全体的な力量を測るとともに、今後の学習内容の確認、方針を立てるために中学国語の全範囲から幅広く出題しています。論説、随筆はもちろんのこと古文でも正確な読解力が求められる内容になっています。

【一】 漢字の読み書き

漢字の知識は、現代文読解の力と大きく関わる「国語の基礎力」の確認です。今回は、音読み・訓読み・三字熟語・四字熟語をまんべんなく出題しました。読みに関しては「委ねる」・「納屋」など、漢字自体は易しいものの、日常会話では使う機会の少ない語を選びました。また「値千金」・「一朝一夕」といった熟語は入試頻出ですので、必ず意味とともに覚えておきましょう。読み書きの両方にしっかり取り組んでおきましょう。

【二】 論説文の読解…………… 安藤寿康『教育は遺伝に勝てるか？』

「学校」や「学歴」といった中学生に身近なテーマを扱いながら、歴史的背景や社会的意義にも広がりを持った内容の文章を採り上げました。専門用語が少なく読みやすい一方、段落ごとに論理展開があり、具体例と主張を区別して読む力が求められます。**問六**は「テストの成績や学歴」と「お金」を、**問七**は「実質的側面」と「形式的側面」を比べて読解する必要がありました。対比的な読み方ができるように意識しましょう。また、**問三**の文法問題は総合的な知識を問う構成です。理解が不十分な選択肢は必ず復習しておきましょう。

【三】 随筆文の読解…………… 最果タヒ『ファンになる。きみへの愛にリボンをつける。』

「好き」という身近な言葉や「推し」という最近よく使われるようになった言葉を題材にしつつ、感情の純粹さや人生との関わりを深く考えさせる内容の文章を採り上げました。筆者の文の書き方が独特な言い回しで特徴的なので、少し読みにくかったかもしれませんが、テーマ自体は中学生でも分かりやすいものであり、比喩や対比を整理して筆者の主張を理解するようにしましょう。**問二**と**問八**は、いずれも比喩表現の理解を問う問題でした。文章中の比喩には敏感に反応できるようにしておきましょう。また、**問五**や**問六**の空欄補充では、空欄前後の表現に注目し、その同意表現を本文から探すことが大切です。

【四】 古文の読解………… 『古今著聞集』 卷第二十「魚虫禽獸」 六九二

出典は鎌倉時代に成立したと言われる説話集です。内容は東大寺の僧と役人に関するエピソードで、ともに前世の行いが後世に影響を与えるという仏教思想に関わるものです。古典の作品では作者が僧であることも多く、仏教の考え方が作品の根底にあるものも少なくありません。中学生には日ごろ縁のない世界かも知れませんが、仏教が人々の生活に大きな役割を果たしていた古典の世界の雰囲気味わってほしいと出題しました。〔注〕を活用しつつ文脈を丁寧にたどって内容をつかんでいきましょう。問題は、古文単語の意味、歴史的仮名遣い、会話文探し、係り結び、文学史の知識などの基本的なものの確認とともに、内容理解にかかわるものを多く出題しています。「因果応報」・「輪廻転生」などにつながる仏教の思想に触れることが、奥深い古典の世界への足がかりになると思います。

2025 第3回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

中学1, 2年生で学習する範囲から、物理・化学・生物・地学の4分野それぞれの総合問題を出題しました。基礎問題から応用問題まで、幅広い難度の問題で構成しています。また、受験において、思考力が求められる問題も少なくないため、見慣れないような題材を用いた問題も出題しています。単に知識を持っているだけでなく、使いこなせるほど理解を深められているかの確認にもなれると思っています。

【1】 小問集合（力のつり合い、台風、反射反応、電磁誘導、飽和水溶液）

小問集合は、国公私立問わずよく出題される形式です。また、基本的な知識を問う問題を多く出題したため、素早く正確に処理できてほしいです。

【2】 身近な物理現象（波、音）

波をテーマに出題しました。波は、光や音などの様々な種類があり、私たちにとって身近な現象の一つです。前半は水面を伝わる波に関する問題で、後半は空気中を伝わる音に関する問題です。前半で、問題を通して波の速さや波長、振動数の関係を理解し、後半では、その知識を使って音の波の速さや波長、振動数を求める問題構成になっています。教科書では学習していない内容だと思いますが、初めて見る情報を正確に読み取る力や思考力の向上を目指して、波を題材として取り上げました。

【3】 生物の体のつくりとはたらき①（光合成、呼吸）

光の強さと、植物の二酸化炭素吸収量の関係を示すグラフをもとに考える問題です。受験生の大半が初めて見るようなグラフだと思いますが、自分の持っている知識と書いてある情報をもとに、いかに正しく読み取れるかがカギとなります。また、グラフが葉 100cm^2 あたりを示しているのに対し、(4)では葉の面積の合計が 800cm^2 の植物について問われています。こうした点も見落とさないようにしましょう。

【4】 大地の変化（地震）

地震に関する出題です。各地で観測されるP波とS波の到達時刻から、それぞれの波の伝わる速さや、初期微動継続時間を計算で求めることができます。これらの結果から、初期微動継続時間と震源距離が比例することを示す式を導き出すことができます。また、3か所以上の地震波の観測記録から、震央の位置と震源の深さを正確に特定することができます。地震に関する知識や理解を深めてほしいです。

【5】 いろいろな生物とその共通点（無セキツイ動物）

イカの体のつくりを題材としています。エラ場所など、細かい知識を問うている設問もありますが、教科書にも記載のある内容です。また、無セキツイ動物の分類はおざなりにされやすい分野ですので、この機会にしっかりと確認してほしいです。

【6】 化学変化と原子・分子（化学変化，酸化，発熱反応）

鉄や銅の化学反応に関する問題です。硫化鉄や硫化銅に関する実験から鉄原子と銅原子の質量比を求め、酸化銅に関する実験から銅原子と酸素原子の質量比を求めます。これらの比や化学反応式から、酸化鉄を構成する鉄原子と酸素原子の数の比を求めるという問題構成になっています。原子は種類ごとに質量が決まっているため、未知の物質でも、その物質全体の質量や、構成する原子の質量比がわかれば、原子どうしの数の比を推定することができます。また、物質の見た目についてもよく問われるので、しっかりと特徴も覚えておいてください。

【7】 生物の体のつくりとはたらき②（消化）

だ液についての実験と、そのはたらきについての出題です。だ液は体温付近でよくはたらくことや、だ液のはたらきによってデンプンが分解されることなどは、すでに知識として持っていることを前提にしています。これらの知識を使い、多少ややこしい実験の条件を整理しながら考えてほしいという意図で、出題しました。

【8】 天気とその変化②（大気と雲）

今年も非常に暑い夏となりましたが、その原因の一つにフェーン現象があります。本問では、このフェーン現象を題材としています。風が山を越えるとき、斜面を上昇するときには空気が冷えて雲が発生しますが、下降するときには空気が暖かく乾燥し、雲ができません。そのため、風下側では暖かく乾いた風が吹き、気温が高くなります。この問題を通して、様々な気象現象に関する知識や理解を深めてほしいです。

2025 第3回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野は、南北アメリカ・アフリカ・オセアニア、最近の異常気象により気候的な変化がみられる日本の地形・気候の事項を出題しました。歴史分野は、明治時代・大正時代を中心に、基本的な学力を測ることをねらいとして出題しましたが、語句の名称だけでなく内容の理解も問うものを多く取り入れています。公民分野は、消費生活・労働・社会保障などに関して、基本的な語句を用いながらも、うろ覚えだと失点する可能性が高くなるような問題を中心に出了題しました。

【1】 南北アメリカ・アフリカ・オセアニア

(1)のアフリカの主要な河川については、特にナイル川とニジェール川が頻出なので、その名称と位置は正確に押さえておくことが大切です。(3)のアフリカの輸出品目の割合は、各国の産業の状態と結びつけて把握するようにしましょう。(4)のアメリカ合衆国の農業の適地適作の作物分布は基本レベルなので、きちんと判断できるようにしておく必要があります。(7)の南アメリカの代表的な地形も、その名称と位置だけでなく、各地域の特色も併せて押さえておくといよいでしょう。(11)のオセアニアのミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの3地域についても、名称と位置だけでなく、各地域に属する代表的な国や島は識別できるようにしましょう。

【2】 日本の地形・気候

(1)の1は、日本の代表的な平野に関する出題です。日本の平野は沖積平野が大部分を占めているので、その平野を流れている河川とともに把握することが大切です。(2)の気候について、日本の6つの気候区分の雨温図の特色は基本レベルなので、見て区別できるようにしましょう。雨温図の代わりに数値で示された表の場合も同様です。(3)の日本の周辺には「海」・「灘」・「湾」等が名称についた海が多くありますが、有明海だけでなく瀬戸内海やオホーツク海等の特色も押さえておくといよいでしょう。

【3】 歴史総合（明治時代・大正時代の歴史中心） I

(1)・(3)・(10)は易しく、(5)と(9)はやや難、他は標準レベルです。(2)・(4)・(6)・(7)・(8)は語句としては頻出ですが、単に語句の暗記のみだと失点するリスクがあります。(5)は時期、(9)は自由党の解党とその時期を知っていたかがポイントになります。

【4】 歴史総合（明治時代・大正時代の歴史中心）Ⅱ

(5)1・(7)は易しく、(1)・(8)はやや難、他は標準レベルです。(2)・(4)・(5)2・(3)・(6)は頻出の語句が使用されていますが、【3】と同様に語句の理解が問われる内容になっています。(1)は時期、(8)は2度の護憲運動の時期と内容がわかるかがカギです。

【5】 現代の社会生活

(1)・(3)・(5)・(6)・(7)1・(8)2・(9)1・(9)2 は基本レベル、他は標準レベルです。(2)は語句としては易しいですが、「バリアフリー」という誤答が目立つ問題です。(4)・(7)2 は語句の内容の正確な理解が求められています。(8)1 は生命保険や株式が貯蓄に分類できれば正解できます。

公民分野は、基本レベルのものでも(7)1のように労働三権を知らなければ解けないなど、学習到達度が大きく点数に影響するので、特に中学生になって初めて習得する内容が多い人は早めに復習をしておきましょう。